

事務局報

2022年5月26日発行

発行／銀行業務検定協会・事務局 発行責任者／勅使河原 豊
〒162-8464 東京都新宿区市谷本村町3番21号 電話 (03)3267-4821(代) ホームページ <http://www.kenteishiken.gr.jp/>

〈第151回〉銀行業務検定試験成績発表

税務3級が好成績

去る2022年3月6日(日)に実施した第151回銀行業務検定試験の成績結果がまとまりましたので、以下のとおり報告いたします。

■財務3級

「財務3級」の成績結果は、〔表-1〕のとおりです。

応募者数9,070名中受験者は7,700名で、合格

者は2,039名でした。合格率は26.48%、平均点は46.81点で、ともに前を下回りました。

最高点は98点で、青木祥伍さん(上田八木短資株式会社)、宮本朝真さん、須戸瑞季さん(以上、個人申込)の3名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問-9〕貸倒発生時の処理の仕訳、〔問-13〕リース債務残高の額の算出、〔問-17〕開発費、〔問-22〕純資産の部の株主資本、〔問-25〕連結貸借対照表上の純資産の額の算出、〔問-29〕法人税等調整額の算出、〔問-37〕労働分配率の算出、〔問-45〕資金繰りから考察した資金繰り状況、の8問でした。

〔問-9〕は、貸倒発生時の売上債権の処理の仕訳に関する問題でした。貸倒となった売上債権

主要項目

- ▶ 〈第151回〉銀行業務検定試験成績発表
- ▶ 団体賞受賞団体等一覧
- ▶ 〈第152回〉銀行業務検定試験応募状況／〈第56回〉コンプライアンス・オフィサー認定試験応募状況
- ▶ 申込団体別応募状況
- ▶ 「信託実務」検定委員長ご就任のお知らせ
- ▶ 10月試験のご案内

〔表-1〕財務3級・業態別一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 ・ 連 農 協	労 金	生 ・ 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	55	2,597	100	890	3,130	581	499	23	110	12	27	1,046	9,070
応募比率	0.61	28.63	1.10	9.81	34.51	6.41	5.50	0.25	1.21	0.13	0.30	11.53	100.00
受験者数	44	2,223	71	720	2,750	493	452	17	79	11	20	820	7,700
受験率	80.00	85.60	71.00	80.90	87.86	84.85	90.58	73.91	71.82	91.67	74.07	78.39	84.90
合格者数	18	665	34	149	558	83	147	9	23	4	6	343	2,039
合格率	40.91	29.91	47.89	20.69	20.29	16.84	32.52	52.94	29.11	36.36	30.00	41.83	26.48
平均点	53.86	48.46	55.24	45.29	44.00	41.08	49.43	54.82	47.24	54.73	44.20	53.70	46.81
年齢	30.0	27.2	29.8	27.3	29.1	31.2	34.4	32.1	30.2	24.2	41.2	31.3	29.1
勤続年数	5.7	3.9	5.1	4.2	6.8	8.1	11.1	5.6	6.7	0.8	15.3	8.0	6.1

が、売上年度が同じ会計年度に発生したものであれば貸倒損失を借方計上することによって会計処理は完結することになります。

〔問－37〕は、労働分配率の算出に関する問題でした。労働分配率は、付加価値額のうち労働に対して分配される人件費の割合をいいます。本問の分子の人件費には、給料手当、法定福利費、役員報酬が該当します。

本種目では、基本的な項目を中心に、応用的な出題形式にも対応できる学習が期待されます。

税務2級

「税務2級」の成績結果は、〔表－2〕のとおりです。

応募者数4,503名中受験者は3,355名で、合格者は842名でした。合格率は25.10%、平均点は43.70点で、ともに前を下回りました。

最高点は92点で、山根和幸さん（個人申込）

が個人最優秀賞を受賞されました。

10題の問題のうち平均点が最も低かったものは、〔問題－9〕繰延資産および貸倒損失の扱いと税務調整項目の計算で、2.46点でした。また、平均点が最も高かったものは、〔問題－1〕給与所得者の申告納付税額の計算で、5.06点でした。

本種目の計算問題では、次の3つのミスが多く見受けられます。①事例から金額を書き写す際に間違える（例2,230万円→2,330万円）。②計算過程は合っているのに、答えでゼロの数を間違える（例15,000万円×80%＝1,200万円）。③単純な四則計算で間違える。これらのミスで得点を落とすことのないよう、落ち着いて試験に臨むことが大切です。

税務3級

「税務3級」の成績結果は、〔表－3〕のとおりです。

〔表－2〕 税務2級・業態別一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農・協	労 金	生・保 損・保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	24	2,119	120	240	1,120	48	166	7	3	0	2	654	4,503
応募比率	0.53	47.06	2.66	5.33	24.87	1.07	3.69	0.16	0.07	0.00	0.04	14.52	100.00
受験者数	14	1,642	67	175	897	32	142	7	2	0	2	375	3,355
受 験 率	58.33	77.49	55.83	72.92	80.09	66.67	85.54	100.00	66.67	0.00	100.00	57.34	74.51
合格者数	7	449	17	26	152	6	46	1	1	0	1	136	842
合 格 率	50.00	27.34	25.37	14.86	16.95	18.75	32.39	14.29	50.00	0.00	50.00	36.27	25.10
平 均 点	60.21	44.78	45.01	37.89	39.32	43.88	48.42	42.86	59.00	0.00	52.50	49.42	43.70
年 齢	31.0	31.2	32.2	36.8	37.1	36.7	38.3	45.7	35.5	0.0	47.5	35.3	34.0
勤続年数	8.0	7.9	8.3	13.2	13.9	12.5	14.3	16.3	3.0	0.0	23.0	11.3	10.5

〔表－3〕 税務3級・業態別一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農・協	労 金	生・保 損・保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	80	2,132	80	618	2,917	437	1,333	116	80	22	33	675	8,523
応募比率	0.94	25.01	0.94	7.25	34.23	5.13	15.64	1.36	0.94	0.26	0.39	7.92	100.00
受験者数	72	1,830	62	493	2,574	361	1,179	101	53	19	27	510	7,281
受 験 率	90.00	85.83	77.50	79.77	88.24	82.61	88.45	87.07	66.25	86.36	81.82	75.56	85.43
合格者数	38	748	25	146	759	69	445	41	24	10	13	251	2,569
合 格 率	52.78	40.87	40.32	29.61	29.49	19.11	37.74	40.59	45.28	52.63	48.15	49.22	35.28
平 均 点	59.25	52.27	55.48	48.27	47.38	41.81	51.17	52.10	58.49	57.26	56.07	56.43	50.03
年 齢	25.2	27.2	28.4	29.2	29.1	30.2	33.3	28.0	38.4	26.6	39.8	32.7	29.6
勤続年数	1.7	3.7	3.3	6.1	6.2	7.4	9.5	3.7	13.2	1.9	14.4	7.7	6.1

応募者数 8,523 名中受験者は 7,281 名で、合格者は 2,569 名でした。合格率は 35.28%、平均点は 50.03 点で、ともに前回は上回りました。

最高点は 100 点で、栗原由佳さん（徳島県信用農業協同組合連合会）、須戸瑞季さん（個人申込）の 2 名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が 30% 以下となった問題は、〈所得税〉分野では〔問－2〕株式・投資信託にかかる課税、〔問－17〕所得控除の 2 問、〈相続税・贈与税〉分野では〔問－26〕小規模宅地等についての相続税の課税価格の計算の特例、〔問－33〕取引相場のない株式の 2 問で、計 4 問でした。

〔問－17〕の所得控除については、近年、税制改正が多く行われています。なかでも、基礎控除や配偶者控除など、多くの人に関わる改正は注目度も高いと考えられます。知識をアップデートして、実務にも役立ててください。

税務 4 級

「税務 4 級」の成績結果は、〔表－4〕のとおりです。

応募者数 1,548 名中受験者は 1,422 名で、合格者は 903 名でした。合格率は 63.50%、平均点は 64.63 点で、ともに前回は下回りました。

最高点は 96 点で、大槻淳也さん（播州信用金庫）、山本竜也さん（播州信用金庫）、五十嵐整さん、吉川佳佑さん（以上、個人申込）の 4 名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が 30% を下回った問題は、〈法人税〉分

野の〔問－43〕租税公課の損金算入、の 1 問でした。

今回は正解率の低い問題が少なく、よく学習されていることがうかがえました。本種目は、税務分野の基礎力を問うものです。本種目で学んだことを土台に、より詳細な知識を加えることで税務 3 級にも対応できますので、次の学習に役立てていただければ幸いです。

外国為替 2 級

「外国為替 2 級」の成績結果は、〔表－5〕のとおりです。

応募者数 863 名中受験者は 638 名で、合格者は 167 名でした。合格率は 26.18%、平均点は 49.12 点で、ともに前回は下回りました。

最高点は 88 点で、安田歩さん（三井住友銀行）が個人最優秀賞を受賞されました。

最も平均点が低い問題は、信用状付き輸出手形の買取りとディスクレに関する〔問題－2〕で、平均点は 3.82 点でした。

UCP600 などの規定に関する知識を問う問題について、その知識が不正確なまま解答しているのが見られました。また、銀行における外国為替の実務に関する知識が求められる問題について、理解不足な解答も見られました。

外国為替の実務に関する的確なオペレーションのためにも、しっかりとした知識を身に付けることが重要です。

〔表－4〕 税務 4 級・業態別一覧表

（合格点は 60 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数	1	28	0	149	696	221	336	16	0	0	0	101	1,548
応募比率	0.06	1.81	0.00	9.63	44.96	14.28	21.71	1.03	0.00	0.00	0.00	6.52	100.00
受験者数	0	25	0	133	649	193	314	14	0	0	0	94	1,422
受 験 率	0.00	89.29	0.00	89.26	93.25	87.33	93.45	87.50	0.00	0.00	0.00	93.07	91.86
合格者数	0	17	0	73	432	99	196	12	0	0	0	74	903
合 格 率	0.00	68.00	0.00	54.89	66.56	51.30	62.42	85.71	0.00	0.00	0.00	78.72	63.50
平均点	0.00	60.88	0.00	61.46	65.70	60.58	64.32	67.00	0.00	0.00	0.00	71.72	64.63
年 齢	0.0	21.9	0.0	24.2	25.4	24.6	27.8	32.7	0.0	0.0	0.0	28.5	25.9
勤続年数	0.0	1.0	0.0	1.4	3.1	1.9	4.2	1.9	0.0	0.0	0.0	4.8	3.0

■ 外国為替3級

「外国為替3級」の成績結果は、〔表-6〕のとおりです。

応募者数2,255名中受験者は1,891名で、合格者は565名でした。合格率は29.88%、平均点は50.98点で、ともに前回を下回りました。

最高点は88点で、芳賀健太さん（個人申込）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問-3〕外国為替の与信、〔問-4〕インコタームズ®2020、〔問-6〕外国為替取引に関する国際ルール等、〔問-16〕D/P・D/A手形の取立て、〔問-28〕輸入為替の決済、〔問-36〕支払又は支払の受領に関する報告書、〔問-43〕外為法による経済制裁措置、〔問-50〕輸出入取引の特徴的な取引類型、の8問でした。

平均点・合格率ともに前回に比べると低下しました。過去に出題された類似の問題でも、角度

が異なると正解率が大きく下がった問題もありました。問題解説集による学習の際には、なぜその解答になるのか、という視点をもちながら学ぶことも大切です。

■ 経営支援アドバイザー2級

「経営支援アドバイザー2級」の成績結果は、〔表-7〕のとおりです。

応募者数1,526名中受験者は1,296名で、合格者は632名でした。合格率は48.77%、平均点は60.20点で、合格率は前回を下回りましたが、平均点は前回を上回りました。

最高点は90点で、大澤健吾さん（群馬銀行）が個人最優秀賞を受賞されました。

〈基本知識（択一式）〉において、正解率が30%以下となった問題はありませんでした。極端に低い正解率がなく、どの分野においてもまんべんなく得点されており、高得点につながっている

〔表-5〕 外国為替2級・業態別一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 連 農 協	労 金	生 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	123	260	0	23	47	0	0	0	0	0	0	410	863
応募比率	14.25	30.13	0.00	2.67	5.45	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	47.51	100.00
受験者数	98	209	0	20	41	0	0	0	0	0	0	270	638
受験率	79.67	80.38	0.00	86.96	87.23	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	65.85	73.93
合格者数	43	50	0	1	8	0	0	0	0	0	0	65	167
合格率	43.88	23.92	0.00	5.00	19.51	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	24.07	26.18
平均点	53.99	47.56	0.00	38.70	43.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	50.21	49.12
年齢	31.0	34.3	0.0	36.1	40.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	31.8	33.2
勤続年数	7.1	10.1	0.0	13.5	16.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	8.7

〔表-6〕 外国為替3級・業態別一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 連 農 協	労 金	生 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	259	775	66	55	277	10	10	0	0	0	0	803	2,255
応募比率	11.49	34.37	2.93	2.44	12.28	0.44	0.44	0.00	0.00	0.00	0.00	35.61	100.00
受験者数	241	670	48	50	246	8	9	0	0	0	0	619	1,891
受験率	93.05	86.45	72.73	90.91	88.81	80.00	90.00	0.00	0.00	0.00	0.00	77.09	83.86
合格者数	88	185	10	9	44	2	2	0	0	0	0	225	565
合格率	36.51	27.61	20.83	18.00	17.89	25.00	22.22	0.00	0.00	0.00	0.00	36.35	29.88
平均点	53.39	49.78	47.88	48.40	46.67	44.25	46.89	0.00	0.00	0.00	0.00	53.66	50.98
年齢	25.7	30.1	33.0	32.0	36.7	29.1	32.8	0.0	0.0	0.0	0.0	28.7	30.1
勤続年数	2.2	6.6	9.3	10.0	14.0	5.0	9.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	6.5

ことがうかがえます。また、〈技能・応用（記述式）〉においては、5問の平均点が5点台となり、こちらも前回同様高くなっています。基本知識、技能・応用ともに高得点だったことにより、前回に引き続き今回も高い合格率となりました。

答案の作成にあたっては「出題の意図を的確に汲んだ内容とすること」を心がけてください。事例を踏まえずに一般論で記述された解答や、計算過程を示すよう求められているにもかかわらず省略して結果のみ記された解答は、受験者ご自身の実感よりも得点が伸びない要因となることがあります。

■ 融資管理3級

「融資管理3級」の成績結果は、〔表-8〕のとおりです。

応募者数2,231名中受験者は1,940名で、合格者は316名でした。合格率は16.29%、平均点は

47.19点で、ともに前回を下回りました。

最高点は96点で、岡村朗さん（さがみ農業協同組合）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問-10〕債権の消滅時効、〔問-15〕担保保存義務、〔問-21〕動産・債権譲渡特例法、〔問-25〕仮処分、〔問-30〕保全仮登記、〔問-35〕元本確定前の根抵当権の変更、〔問-38〕第三者による弁済、〔問-46〕自行預金担保との相殺、〔問-48〕民事再生手続における担保の取扱い、の9問でした。

正解率の低い問題の中には、債権法関連の問題も見受けられました。また、過去問で関連問題を出題しているものもありました。学習するうえでは、問題文を、表面的ではなく、実務での内容をイメージしながら理解し、知識を身に付けるという姿勢が肝要です。

〔表-7〕 経営支援アドバイザー2級・業態別一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損・ 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	21	607	0	164	436	88	13	0	0	0	0	197	1,526
応募比率	1.38	39.78	0.00	10.75	28.57	5.77	0.85	0.00	0.00	0.00	0.00	12.91	100.00
受験者数	19	522	0	139	378	70	11	0	0	0	0	157	1,296
受験率	90.48	86.00	0.00	84.76	86.70	79.55	84.62	0.00	0.00	0.00	0.00	79.70	84.93
合格者数	18	312	0	66	120	15	7	0	0	0	0	94	632
合格率	94.74	59.77	0.00	47.48	31.75	21.43	63.64	0.00	0.00	0.00	0.00	59.87	48.77
平均点	71.42	62.94	0.00	60.17	55.54	53.83	65.09	0.00	0.00	0.00	0.00	63.50	60.20
年齢	33.8	35.3	0.0	39.8	38.3	43.6	40.4	0.0	0.0	0.0	0.0	38.7	37.5
勤続年数	10.3	12.0	0.0	16.1	15.0	20.5	15.1	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.0

〔表-8〕 融資管理3級・業態別一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損・ 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	81	667	5	157	608	161	241	28	2	0	1	280	2,231
応募比率	3.63	29.90	0.22	7.04	27.25	7.22	10.80	1.26	0.09	0.00	0.04	12.55	100.00
受験者数	75	587	5	132	538	136	218	25	2	0	1	221	1,940
受験率	92.59	88.01	100.00	84.08	88.49	84.47	90.46	89.29	100.00	0.00	100.00	78.93	86.96
合格者数	41	95	0	14	69	6	33	2	1	0	1	54	316
合格率	54.67	16.18	0.00	10.61	12.83	4.41	15.14	8.00	50.00	0.00	100.00	24.43	16.29
平均点	60.93	47.96	44.80	44.64	46.18	41.22	45.06	43.60	54.00	0.00	84.00	50.51	47.19
年齢	31.2	32.3	33.0	34.4	37.6	39.4	40.0	34.2	40.0	0.0	55.0	37.6	35.9
勤続年数	9.0	9.3	9.6	11.5	14.7	16.4	16.0	8.5	17.0	0.0	36.0	12.0	12.5

■年金アドバイザー2級

「年金アドバイザー2級」の成績結果は、〔表-9〕のとおりです。

応募者数1,389名中受験者は1,082名で、合格者は264名でした。合格率は24.40%、平均点は43.91点と、ともに前回と同水準でした。

最高点は88点で、上杉雅子さん（個人申込）が個人最優秀賞を受賞されました。

平均点が3点以下の問題は、〔問題-8〕企業年金の1題でした。本問は、令和2年6月公布のいわゆる年金制度改正法による確定拠出年金制度の改正内容を問うものです。

前半の空欄補充式、後半の記述式とも、その多くは問題解説集の「最近の改正法等のポイント」からの出題でしたので意外な結果となりました。

次に平均点の低かった問題は、〔問題-7〕遺族給付でした。本問は、遺族厚生年金の受給要件、寡婦年金受給の可否、遺族厚生年金の年金額の計

算から構成されています。老齢厚生年金を繰上げ受給している者の死亡という事例で、この場合、遺族厚生年金の年金額は繰上げによる減額の影響を受けないのですが、これが理解されておらず、年金額の計算を誤った受験者が非常に多かったため、低調でした。

■年金アドバイザー3級

「年金アドバイザー3級」の成績結果は、〔表-10〕のとおりです。

応募者数5,021名中受験者は4,157名で、合格者は1,325名でした。合格率は31.87%、平均点は48.22点と、ともに前を下回りました。

最高点は100点で、下村毅さん（個人申込）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問-30〕社会保障協定と脱退一時金、〔問-38〕高年齢求職者給付金、の2問でした。

〔表-9〕年金アドバイザー2級・業態別一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損・ 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	4	71	6	16	122	13	70	26	1	0	38	1,022	1,389
応募比率	0.29	5.11	0.43	1.15	8.78	0.94	5.04	1.87	0.07	0.00	2.74	73.58	100.00
受験者数	3	52	4	7	107	10	62	19	1	0	34	783	1,082
受験率	75.00	73.24	66.67	43.75	87.70	76.92	88.57	73.08	100.00	0.00	89.47	76.61	77.90
合格者数	0	8	0	0	13	0	14	1	0	0	7	221	264
合格率	0.00	15.38	0.00	0.00	12.15	0.00	22.58	5.26	0.00	0.00	20.59	28.22	24.40
平均点	16.00	30.33	44.75	25.43	36.83	26.90	42.39	29.26	51.00	0.00	39.06	46.94	43.91
年齢	31.7	42.7	36.3	46.7	40.7	39.2	39.1	40.4	44.0	0.0	43.4	48.5	46.4
勤続年数	8.7	17.1	14.3	17.6	16.2	14.4	15.5	12.7	20.0	0.0	20.0	17.8	17.2

〔表-10〕年金アドバイザー3級・業態別一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損・ 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	14	287	0	59	908	258	965	52	53	3	845	1,577	5,021
応募比率	0.28	5.72	0.00	1.18	18.08	5.14	19.22	1.04	1.06	0.06	16.83	31.41	100.00
受験者数	10	239	0	50	796	227	865	46	38	3	729	1,154	4,157
受験率	71.43	83.28	0.00	84.75	87.67	87.98	89.64	88.46	71.70	100.00	86.27	73.18	82.79
合格者数	2	79	0	15	168	32	215	15	15	0	230	554	1,325
合格率	20.00	33.05	0.00	30.00	21.11	14.10	24.86	32.61	39.47	0.00	31.55	48.01	31.87
平均点	47.80	47.31	0.00	44.56	43.92	40.13	42.92	47.48	49.53	42.67	48.54	56.91	48.22
年齢	49.4	34.4	0.0	35.5	33.6	32.8	33.1	34.4	39.5	45.0	38.9	43.5	37.3
勤続年数	25.6	12.0	0.0	10.6	11.0	11.4	9.4	8.4	15.7	9.5	15.0	15.9	12.5

〔問－30〕は、外国人労働者の増加に伴い重要度が増している知識であることから、前回試験(2021年10月試験)に初めて出題したテーマです。過去問題が1回分であることから、十分な対策が難しかったと推測されます。

〔問－38〕は、これまで「技能・応用」で「65歳以後の在職老齢年金」を出題するときに出題してきたテーマです。「60歳台前半の在職老齢年金」を出題するときには同一事例で出題できないため、過去問題の蓄積が少なく、十分な対策が難しかったと推測されます。

年金アドバイザー4級

「年金アドバイザー4級」の成績結果は、〔表－11〕のとおりです。

応募者数1,164名中受験者は1,075名で、合格者は616名でした。合格率は57.30%、平均点は62.17点で、ともに前を下回りました。

最高点は100点で、濱野玲奈さん(京都中央信用金庫)、竹内智佳子さん(たじま農業協同組合)、渡邊佳子さん(個人申込)の3名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率40%以下の問題は、〔問－7〕寡婦年金、〔問－25〕確定給付企業年金、〔問－29〕ねんきん定期便、〔問－34〕老齢基礎年金の年金額に反映される割合、〔問－40〕老齢厚生年金の配偶者加給年金額、の5問でした。

〔問－7〕は、定番のテーマを定番の論点で出題しており、意外な結果でした。

〔問－25〕は、まず国民年金・厚生年金保険といた公的年金を学習してから、次に学習するであろう私的年金についての問題ですから、まだ本テーマまで学習が進んでいなかったのかもしれない。

〔問－29〕は、年金相談という点からは入口の知識といえるものであり、また受験者のほとんどが自身のねんきん定期便を目にしているはずですから、意外な結果でした。

〔問－34〕は、初出のテーマであったことから、難度が高い問題でした。

〔問－40〕は、定番のテーマを定番の論点で出題しており、意外な結果でした。

投資信託2級

「投資信託2級」の成績結果は、〔表－12〕のとおりです。

応募者数526名中受験者は391名で、合格者は149名でした。合格率は38.11%、平均点は51.05点で、ともに前を上回りました。

最高点は88点で、千葉晶也さん(東北労働金庫)が個人最優秀賞を受賞されました。

問題別にみると平均点が3点以下となった問題は、〔問題－5〕外国債券ファンドの運用、の1題でした。債券ファンドの運用については過去に類題が出題されていますので、問題解説集や参考図書などを活用することによって、より知識を深めることができます。

一方、平均点が5点を越えた問題は、〔問題－

〔表－11〕年金アドバイザー4級・業態別一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 ・ 連 農 協	労 金	生 ・ 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	4	36	0	36	503	104	388	3	2	0	0	88	1,164
応募比率	0.34	3.09	0.00	3.09	43.21	8.93	33.33	0.26	0.17	0.00	0.00	7.56	100.00
受験者数	4	34	0	33	471	98	363	3	1	0	0	68	1,075
受験率	100.00	94.44	0.00	91.67	93.64	94.23	93.56	100.00	50.00	0.00	0.00	77.27	92.35
合格者数	3	17	0	15	292	56	186	3	1	0	0	43	616
合格率	75.00	50.00	0.00	45.45	62.00	57.14	51.24	100.00	100.00	0.00	0.00	63.24	57.30
平均点	65.50	58.47	0.00	57.09	63.91	59.76	60.29	73.33	64.00	0.00	0.00	67.26	62.17
年齢	53.5	30.0	0.0	29.7	28.6	27.4	31.7	37.0	52.0	0.0	0.0	44.3	30.8
勤続年数	15.0	7.1	0.0	6.8	5.6	3.0	7.5	9.0	0.0	0.0	0.0	14.0	6.5

1) 投資信託の費用・手数料、〔問題－2〕運用報告書、〔問題－4〕分散投資によるリスクの低減、〔問題－6〕投資信託の販売用資料、〔問題－8〕追加型株式投資信託の換金等、〔問題－9〕個人投資家の公募株式投資信託の税制、の6題でした。

投資信託3級

「投資信託3級」の成績結果は、〔表－13〕のとおりです。

応募者数3,515名中受験者は3,121名で、合格者は1,545名でした。合格率は49.50%、平均点は56.94点で、ともに前回は下回りました。

最高点は98点で、山田奈都美さん(大垣共立銀行)が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問－4〕私募投資信託、〔問－9〕公募のファンド・オブ・ファンズ、〔問－16〕投資信託の償還、〔問－22〕

投資信託会社の禁止行為、〔問－29〕経済指標、〔問－42〕通貨選択型ファンド、の6問でした。

問題解説集や参考図書だけでなく、投資信託関連の情報に日頃から耳を傾け、周辺の知識も含めて習得することによって、より幅広い投資信託の知識を得ることができます。

一方、正解率が80%を超えた問題は、〔問－10〕販売会社の役割と特徴、〔問－26〕投資信託の販売時の説明事項(手数料等)、〔問－31〕インデックス・ファンドの説明、〔問－46〕乗換勧誘に該当しないケース、の4問でした。

相続アドバイザー2級

「相続アドバイザー2級」の成績結果は、〔表－14〕のとおりです。

応募者数2,086名中受験者は1,725名で、合格者は406名でした。合格率は23.54%、平均点は47.93点で、ともに前回は下回りました。

〔表－12〕投資信託2級・業態別一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・特 銀 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農・協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	2	215	11	28	52	1	37	22	0	5	0	153	526
応募比率	0.38	40.87	2.09	5.32	9.89	0.19	7.03	4.18	0.00	0.95	0.00	29.09	100.00
受験者数	1	165	7	19	43	1	31	22	0	5	0	97	391
受 験 率	50.00	76.74	63.64	67.86	82.69	100.00	83.78	100.00	0.00	100.00	0.00	63.40	74.33
合格者数	1	55	4	5	14	0	13	5	0	2	0	50	149
合 格 率	100.00	33.33	57.14	26.32	32.56	0.00	41.94	22.73	0.00	40.00	0.00	51.55	38.11
平 均 点	75.00	50.19	62.86	39.95	47.58	27.00	52.00	42.05	0.00	61.20	0.00	56.60	51.05
年 齢	29.0	34.8	38.4	39.6	38.4	26.0	38.7	36.5	0.0	35.4	0.0	36.8	36.4
勤続年数	6.0	11.6	13.9	17.4	14.4	1.0	14.2	10.6	0.0	11.0	0.0	9.8	11.9

〔表－13〕投資信託3級・業態別一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・特 銀 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農・協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	23	970	153	226	763	33	660	138	8	23	17	501	3,515
応募比率	0.65	27.60	4.35	6.43	21.71	0.94	18.78	3.93	0.23	0.65	0.48	14.25	100.00
受験者数	18	892	142	192	687	29	595	117	4	20	16	409	3,121
受 験 率	78.26	91.96	92.81	84.96	90.04	87.88	90.15	84.78	50.00	86.96	94.12	81.64	88.79
合格者数	10	536	102	70	252	11	269	49	1	10	9	226	1,545
合 格 率	55.56	60.09	71.83	36.46	36.68	37.93	45.21	41.88	25.00	50.00	56.25	55.26	49.50
平 均 点	60.11	60.96	65.27	52.22	51.94	54.90	54.92	53.28	48.50	60.00	61.25	59.67	56.94
年 齢	27.4	29.9	33.4	31.2	33.5	34.8	37.3	34.6	36.0	30.7	41.4	35.3	33.3
勤続年数	2.7	6.7	9.8	8.4	10.8	10.9	13.8	9.2	12.0	5.8	21.6	9.2	9.7

最高点は92点で、吉田和生さん(個人申込)が個人最優秀賞を受賞されました。

〈四答択一式〉において、正解率が30%以下となった問題は、〔問-3〕配偶者居住権・配偶者短期居住権、〔問-9〕新戸籍に移記されない事項、〔問-14〕暦年課税の贈与税額の計算(一般税率と特例税率)、〔問-16〕遺産分割協議の対象財産、の4問でした。一方、正解率が80%以上となった問題は、〔問-21〕信託の活用、〔問-24〕法定相続情報証明制度、の2問でした。

〈記述式〉において、平均点が5点を下回った問題は、〔問題-27〕相続人の把握と特別受益・寄与分、〔問題-29〕遺留分と遺留分侵害額請求、〔問題-30〕相続税額の計算、の3題でした。

解答状況は、択一式問題は全般としては良好であり、3級試験の受験の際に学習された基本知識の定着が図られていると推測されます。記述式問題では、最近の相続法の改正に関する内容や、

税額計算の流れの理解度を問う問題を苦手とする受験者が多かったようです。

本種目の学習においては、3級試験の受験の際に学んだ相続関連法令等諸規則、相続手続きや利用される金融商品等に関する基本的な知識、および相続税・贈与税の税額計算にかかる基本知識とその計算の流れをあらためて整理しておくことが有効です。

■ 相続アドバイザー3級

「相続アドバイザー3級」の成績結果は、〔表-15〕のとおりです。

応募者数4,288名中受験者は3,702名で、合格者は1,377名でした。合格率は37.20%、平均点は52.69点で、合格率は前を下回りましたが、平均点は前を上回りました。

最高点は96点で、山脇しのおさん(日本郵便東海支社)が個人最優秀賞を受賞されました。

〔表-14〕 相続アドバイザー2級・業態別一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 地銀	二 信金	信組	信・ 連協	農	労金	生・ 保保	証券	郵政	他団体 個人	全体
応募者数	17	850	27	70	280	50	174	29	0	0	40	549	2,086	
応募比率	0.81	40.75	1.29	3.36	13.42	2.40	8.34	1.39	0.00	0.00	1.92	26.32	100.00	
受験者数	16	707	25	60	242	43	156	28	0	0	39	409	1,725	
受験率	94.12	83.18	92.59	85.71	86.43	86.00	89.66	96.55	0.00	0.00	97.50	74.50	82.69	
合格者数	8	129	18	6	37	9	45	6	0	0	11	137	406	
合格率	50.00	18.25	72.00	10.00	15.29	20.93	28.85	21.43	0.00	0.00	28.21	33.50	23.54	
平均点	53.81	45.58	63.48	45.18	44.45	48.95	49.35	48.32	0.00	0.00	51.46	52.28	47.93	
年齢	46.4	40.3	41.7	43.2	45.4	41.4	41.7	43.2	0.0	0.0	43.7	44.6	42.5	
勤続年数	19.9	16.7	16.3	18.5	22.2	16.9	17.4	17.2	0.0	0.0	20.9	18.7	18.2	

〔表-15〕 相続アドバイザー3級・業態別一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 地銀	二 信金	信組	信・ 連協	農	労金	生・ 保保	証券	郵政	他団体 個人	全体
応募者数	19	866	7	128	659	177	1,040	39	8	7	639	699	4,288	
応募比率	0.44	20.20	0.16	2.99	15.37	4.13	24.25	0.91	0.19	0.16	14.90	16.30	100.00	
受験者数	16	747	6	108	584	147	940	37	7	7	571	532	3,702	
受験率	84.21	86.26	85.71	84.38	88.62	83.05	90.38	94.87	87.50	100.00	89.36	76.11	86.33	
合格者数	8	339	5	43	184	43	293	18	2	2	229	211	1,377	
合格率	50.00	45.38	83.33	39.81	31.51	29.25	31.17	48.65	28.57	28.57	40.11	39.66	37.20	
平均点	56.88	55.85	70.00	52.70	50.68	49.82	50.40	53.46	48.57	51.43	53.23	54.42	52.69	
年齢	38.6	35.0	39.3	33.1	38.4	40.2	36.6	40.2	46.6	42.9	42.3	41.8	38.3	
勤続年数	11.3	10.9	16.8	9.8	15.5	15.9	12.9	12.8	17.2	18.0	18.4	15.3	14.1	

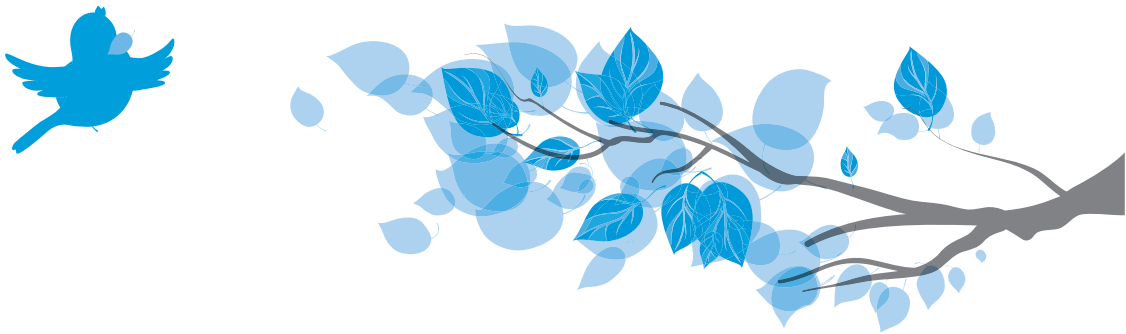
正解率が30%以下となった問題は、〔問－4〕養子と嫡出でない子、〔問－7〕遺言の種類・取扱い・遺言能力、〔問－9〕特別寄与制度、〔問－18〕生前贈与の特例、〔問－49〕同族会社の自社株評価と株価引下げ対策、の5問でした。

一方、正解率が80%以上となった問題は、〔問－1〕相続手続きの流れ、〔問－22〕相続手続き必要書類、の2問でした。

解答状況をみると、過去問で頻出の問題や論点

については問題解説集等により、よく学習されていたと推測します。その一方で、税額計算の問題については苦手とする受験者が若干多かったようです。

本種目の学習においては、問題解説集で出題傾向を把握することに加え、基本書となる参考書の通読や関連通信講座の受講により体系的な知識を身に付けることができます。



試験公告

「金融リスクマネジメント2級」「投資信託2級」 試験廃止（2023年度以後）のお知らせ

銀行業務検定協会

弊会では、「金融リスクマネジメント2級」「投資信託2級」の2種目につきまして、2022年度の実施をもって終了させていただくこととなりましたのでお知らせいたします（2023年度以後の廃止となります）。

この廃止につき、ご理解を賜りたく存じますとともに、人事研修ご担当者の皆様には、これまでのご活用に対しまして謹んでお礼を申し上げます。

《2023年度以後廃止となる種目》

「金融リスクマネジメント2級」

○最終実施日：第152回 銀行業務検定試験（2022年6月5日（日））

「投資信託2級」

○最終実施日：第154回 銀行業務検定試験（2023年3月5日（日））